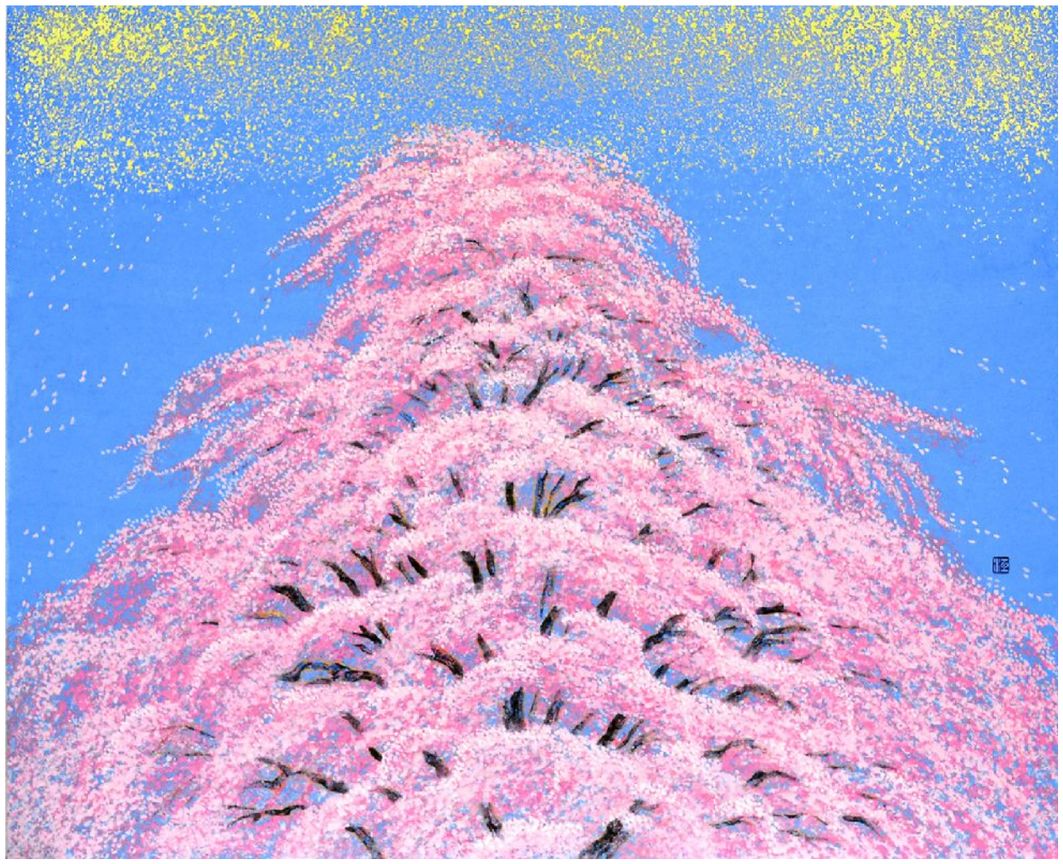
朝日チャリティー美術展2025

ネット入札　5日から23日まで

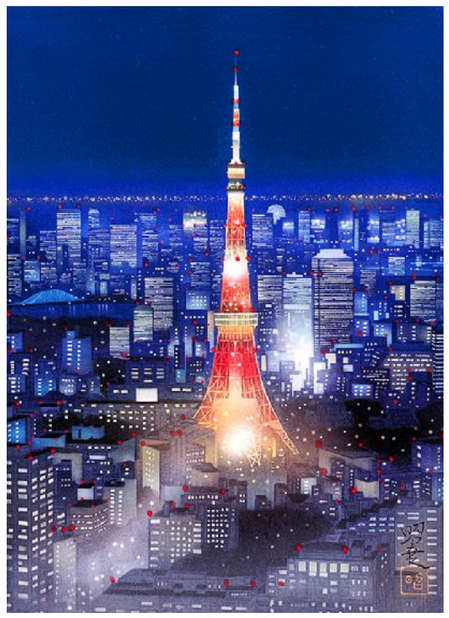


福井江太郎「惠」（F15）

優しさつなぎ100年 これからも

日本画、洋画、陶工芸など、著名な作家による多彩な作品約160点をインターネット上で入札販売する「朝日チャリティー美術展2025」が5日から始まります。ご協力くださった作家の方々に心より感謝申し上げます。

収益の一部を、厳しい家庭環境に置かれた子どもが高校で学ぶための奨学金や、発達障がいのある人を地域で支える活動への助成など、朝日新聞厚生文化事業団が行っている社会福祉事業、被災地支援活動に役立てます。



岩波昭彦「Tokyo」（F4）

関東大震災の被災者支援 きっかけ

朝日チャリティー美術展は、ルーツとなった催しの開催から100年を迎える。関東大震災の翌年、1924年12月に東京朝日新聞社は、米国の新聞社のクリスマスチャリティーにならった「同情週間」を初めて実施。映画会や舞台などを催して集まったお金をもとに、被災地域の困窮した人たちを支援した。翌25年からは歳末の恒例行事に。そこで新たに加わった、著名な作家や歌人、俳優らの協力を得て開いた色紙短冊や署名入り写真の即売会が美術展の始まりだ。

美術作品が中心になり、コロナ禍でオンライン入札を導入するなど、開催の形や名称は時とともに変化したものの、1世紀にわたり芸術家や各界の著名人と福祉をつなぐ催しであり続けている。

約160点 HPで販売 展示会も

◇会期　5日㊍午後1時～23日㊊午後1時

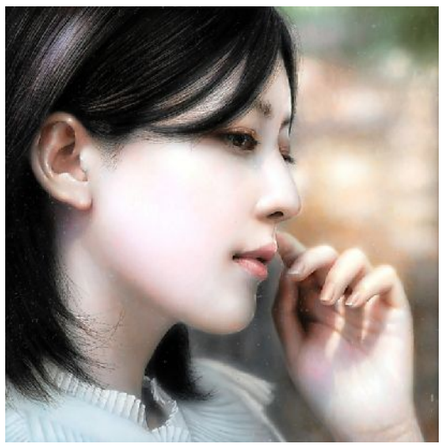
◇全作品を朝日新聞厚生文化事業団ホームページ（https://www.asahi-welfare.or.jp）で展示、入札販売します

◇作品ごとの入札開始価格以上のご希望の金額（千円単位）でお申し込みください。落札された方には、23日夕刻以降に連絡いたします。落札後はいかなる理由でもキャンセルできません

◇展示会（会場で入札はできません）　13日㊎～18日㊌、午前11時～午後6時（最終日の18日は午後4時まで）、東京都千代田区・有楽町マリオン11階「有楽町朝日ギャラリー」

◇問い合わせ　同事業団（050・3580・7858）

主催　朝日新聞厚生文化事業団、朝日新聞社



永瀬武志「Distance」（S4）

中村宗弘「富士暁光」（F6）

那波多目功一「赤いばら」（F5）

石踊達哉「夜桜」（F3）

長谷川雅也「暉」（WSM）

高木聖雨「澹如」（35㌢×60㌢）

●出品作家

（敬称略、予定含む）

日本画家

秋本幸一、石踊紘一、石踊達哉、泉東臣、稲田峻、猪熊佳子、岩波昭彦、鵜飼千佐子、臼井治、内田広己、大矢亮、大矢時保、大矢眞弓、岡信孝、小倉亜矢子、加藤美惠子、上村俊明、亀山玲子、香野ルミ子、小島光径、近藤守、斉藤和、坂井昇、桜井敬史、佐々木経二、笹本正明、椎名保、芝康弘、清水航、下田義寛、真条彩華、新山拓、鈴木紀和子、鈴木靖代、関谷理、千住博、五月女佳織、平良志季、高橋新三郎、高橋浩規、戸田みどり、鳥山武弘、中沢梓、中村貴弥、中村宗弘、名古屋剛志、那波多目功一、仁木寿美子、西野陽一、西村光人、長谷川雅也、長谷川喜久、平岡良、福井江太郎、福田季生、福本百恵、藤原祐寛、二川和之、牧野伸英、間瀬静江、松下明生、松原亜実、水野收、柳績、山口渓華、渡辺章雄

洋画家

遊馬賢一、阿野義久、安藤公一、池田清明、池田洋子、板垣千鶴子、板倉美智子、稲垣考二、稲垣龍雄、井上慎介、井口由多司、今井喬裕、今関アキラコ、今村价男、入江観、上野憲一、宇野孝之、宇野義行、王前一馬、大島利佳、大津英敏、大見伸、大森祥吾、遅野井梨絵、笠井誠一、金丸悠児、亀山裕昭、川畑太、喜澤のり子、橘田政明、木脇康一、久保輝秋、黒田勝、小池壮太、小林英且、酒井英利、櫻井幸雄、佐藤泰生、四方道夫、瀬尾一嘉、高梨芳実、出口修、長尾浩一、永瀬武志、中田順、中西良招、中村實、名和智明、ノブ・サチ、乃村豊和、福岡通男、藤原秀一、別府忠雄、堀尾一郎、本間千恵子、前田多津子、槙利光、柾木高、増本憲樹、松浦安弘、村岡顕美、安井啓二、柳田晃良、山下徹、山田精一、山田嘉彦、湯山俊久、吉岡耕二、吉村美令由、わたせせいぞう

工芸家

伊勢崎淳、伊藤渡、井上萬二、小椋範彦、角谷英明、片山雅博、吉向孫斎、九世吉向松月、島田文雄、新谷一郎、高橋直樹、玉那覇有公、沈壽官、土屋典康、徳田八十吉、仲田錦玉、藤田潤、松本達弥、宮田亮平、村山明、森一蔵、山田孝三、吉田美統

書家

樫本桑牛、杭迫柏樹、高木聖雨